

## 第17回医薬品開発基礎研究会 学術集会プログラム

会期：2012年11月10日(土) 9:55-17:00

会場：昭和大学旗の台キャンパス4号館6階600号教室

会費：8,000円(研究会終了後送付する講演記録集代を含む)

※本研究会は(財)日本薬剤師研修センター薬剤師認定単位2単位が取得できます(予定)

研究会事務局：昭和大学医学部 臨床薬理学内(担当：岩瀬・今林)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8128 FAX 03-3784-8129

代表幹事 小林 真一 e-mail:iyakuhin@med.showa-u.ac.jp

### ◆ プログラム ◆

- 9:55 開会挨拶 小林 真一(昭和大学医学部 臨床薬理学 教授)
- 10:00-11:00 基調講演(1) 座長：小口 勝司(昭和大学医学部 医科薬理学 教授)  
医薬品開発の国際化時代における日本のリーダーシップにむけて  
近藤 達也(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 理事長)
- 11:00-12:00 基調講演(2) 座長：吉田 武美(昭和大学名誉教授)  
医薬品開発中止の決定が安全性評価の立場からどのようになされたか？  
：創薬初期、非臨床および臨床開発時の各段階におけるケース・スタディーの提示  
堀井 郁夫(ファイザー(株) 非臨床開発研究部 グローバルコンサルタント)
- 
- 12:00-13:30 昼休憩
- 
- 13:30-14:30 基調講演(3) 座長：堀江 透(テイ・スリー研究所 代表取締役所長)  
医薬品開発におけるコンパニオン診断薬の役割とその課題  
林 邦彦(日本製薬工業協会 医薬産業政策研究所 主任研究員)
- 14:30-16:55 シンポジウム 座長：小林 真一(昭和大学医学部 臨床薬理学 教授)  
野口 隆志(昭和大学薬学部 臨床薬学 客員教授)  
「我が国における癌領域のコンパニオン診断薬の現状と課題」
- 14:30-15:00 臨床現場からのアプローチ  
佐々木 康綱(昭和大学医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 教授)
- 15:00-15:30 診断薬企業からのアプローチ  
田澤 義明(ロシュ・ダイアグノスティクス(株) IVD 事業本部  
ライフサイクルマネジメント部門/メディカルマーケティング部 部長)
- 15:30-16:00 製薬企業からのアプローチ  
秋永 士朗(協和発酵キリン(株) 執行役員 開発本部 国際開発統括)
- 16:00-16:15 休憩
- 16:15-16:55 パネルディスカッション
- 16:55 閉会挨拶 黒岩 幸雄(昭和大学名誉教授)